

# 子どもたちのあそびと学びの芽

令和3年8月

幼保連携型認定こども園 大関保育園

大関保育園では一人ひとりの「やりたい!」「おもしろい!」「もっと!」という気持ちの芽生えや、自分たちで創りだす遊び、そこから得る学びを大切に保育しています。子どもたちが「やってみたい」と好きなことを見つけ、「おもしろい」と追求し「またやりたい」と満足いくまで楽しむ子どもたちの姿はとてもしきりに見られます。今年度も子どもたちが学び成長していく姿を保護者の皆様にご発信していきます。

幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿の中から今回は「健康な心と体」の育ちが見られたエピソードを紹介します。「健康な心と体」とは体が清潔で心地よさを感じる、お腹が満たされて心地よさを感じる、体を動かさず心地よさを感じることです。大きくなるにつれ、やりたいことに向かって体を動かす楽しさも感じていきます。感じるということが学びにもつながっていくのだと思います。

「つめたくてきもちいい～」とこの表情! スコップですくってみたり、お水をにぎにぎ・・・。色水の動きに興味を持ち触ると様々な水の動きに興味を持ってくり返し遊ぶ姿が見られました。(0歳児)



裸足で砂の上に立つと感触が気持ちよくて笑顔に!でも下りる時は座って一歩ずつ慎重に・・・。安全に下りるにはどうするといのかを考えている姿が見られました。なんと!それからしばらくしてバランスをとりながら立って下られるようになりました。(0歳児)



ホール遊びの日。鉄棒を出すと「ぶらーん」とぶら下がるRちゃん。その姿を見ていたIちゃんも鉄棒を握りぶら下がろうとしたのですが、足をうまく上げることができず、諦めてしまいました。ホールを使う日は、鉄棒を出しぶら下がるようにしておく・・・。

6月のある日、鉄棒にぶら下がるIちゃんの姿が見られました。いつの間にか、出来るようになっていたのです!「じょうずだね!」と声を掛けられると嬉しそうにニコニコ笑顔を見せてくれました。意欲的に、体を動かして遊ぶ楽しさを十分に味わっていました。(1歳児)



おやつや給食前には、手洗いをしています。手を濡らすだけの子どもたちでしたが「おねがいかめさん」の歌を聞き、手のひら・手の甲・指の間をゴシゴシきれいに洗えるようになりました。「ほらあ。」ときれいになった手を見せてくれます。子どもたちもきれいになった心地よさを感じています。(2歳児)



ホールで遊ぶ日は、鉄棒・マット・ハシゴ渡りなどからだを動かして遊んでいます。かけっこ「よーいドン!」みんなで思いっきり走ります。転んでも泣かずに立ち上がり、また挑戦する姿が見られます。動きも活発になり、体を動かす楽しさを一杯楽しんでいます。(2歳児)



いつもはフラットな場所を走っている子どもたち。踏切板で坂を作ると「何だろう?」と興味津々。車で登るのには力がいらいます。でも子どもたちは「登ってみたい」という思いで動きを調整しながら坂を登っていました。やりたいことに向かって体を動かす楽しさを感じていました。(3歳児)

グループの友だちと楽しく食事をしています。今は柄が太くて黄色いスプーンですが、上手に持てるようになったら柄の細いスプーンに替わります。憧れのスプーンを早く持ちたくて「鉄砲パンか?」と自分の手を鉄砲の形にして楽しみながら、生活習慣を身につけています。(3歳児)



体育教室が始まり、教えてもらったことを真似て遊んでいます。ポーズが取れると「先生見て～」と教えてくれます。またお友だちを見て「〇〇ちゃんすご～い」「頑張れ～!」と応援する姿も見られるようになってきました。ぐっと踏ん張ったり、バランスを取ったりと先生や友だちを真似て考えながら体操をしている子どもたちです。(4歳児)



ケガをしないよう考え、動きを調節しすべり台を楽しんでいます。充実感・満足感から湧き出る笑顔!(5歳児)

玩具を持って走り出した子どもたち。保育教諭が玩具を上に掲げ走ると「これテレビで見た事ある～」という声が聞こえてきましたよ。オリンピックにちなみ「聖火リレーをしてみよっか」と言うと続々と子どもたちが集まってきました。聖火を落とさずに走るの難しそうで何度も落とす子も・・・。しかし、次の友だちに聖火を渡そうと最後まで走り切る子どもたちでした。(4歳児)



6月15日仁愛女子短期大学重村先生による造形遊びにペンギン組が参加しました。色々な素材を使い、イメージしながら作り上げていく中でたくさんの学びがありました。

別の子は、同じ帽子を作り始めました。保育教諭の手を借りながら自分の好きなネコの帽子を作り始めました。保育教諭と言葉のやりとりをしながら、アイデア、ヒントを少し伝えと、工夫して作る姿が見られました。自分の作りたいイメージを保育教諭と共有して、考え工夫する姿から、自立心や思考力の芽生えを感じました。

三つ編みのやり方が分からず、友だちに教えてもらったり手伝ってもらって協同性が見られました。また、手伝ってあげる子も制作していた手を止めて教えてあげる、道徳性の芽生えも感じられました。



講師の先生が作っていた手本を見て、僕も作りたいと意欲的に取り組む姿がありました。しかし、作り方がわからず、諦めそうになりました。手本を手元に置くことで、1本の細い紙では頭のサイズに合わない気が付き、2本繋げてみるなど思考力の芽生えが感じられました。また、手本を見てそっくりにする姿からは、個数を数えたり、長さを試したりして、数量や図形などへの関心、感覚が感じられました。

